

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1組：藤井 優子）（2組：鶴巻 智大）（3組：藤井 優子）（4組：鶴巻 智大）（5組：鶴巻 智大）（6組：鶴巻 智大）（7組：藤井 優子）
 使用教科書：（現代の国語（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			読	書						
1 学 期	A 視点をえて考える 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開	・指導事項 具体例や体験談、引用などを用いた筆者の主張の捉え方 ・教材 『木を見る、森を見る』	○		【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】		○	○	○	6
	B 視点をえて考える 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 談歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な	・指導事項 談歩表現などの表現技法を用いた筆者の主張の捉え方 ・教材 『技術が道徳を代行するとき』	○		【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 談歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】		○	○	○	6
	C 共生について考える 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 複数の文章を読み比べて理解したことや解釈したりしたことの変化 ・教材 『真の自立とは』『自立と市場』『共鳴し引き出される力』 ・自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。		○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2 学 期	D 探求したことを発信する 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。	・指導事項 他者に伝わるような言葉遣いや表現の仕方 ・教材 夏季休業中のレポート課題 ・自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立		○	○	○	3
	E 人間を科学から考える 【知識及び技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論文グラフや写真から考える。	・指導事項 同じテーマについて書かれた複数の文章を読み比べる力 ・1つの事柄に関して複数の視点から考える力 ・教材 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 「学ぶことと人間の知恵」	○		【知識及び技能】 ・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。		○	○	○	6
	F グラフや写真から考える。 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。	・指導事項 グラフや写真からの情報の読み取り方。 情報をもとに推論すること。 ・教材 コラム「グラフや写真の読み取り方」 ・自らの考えを文章化する際に	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上さ		○	○	○	6
	G メディアを考える。 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したり	・指導事項 「自由」というテーマについて文章をもとに考える。 ・教材 「時間と自由の関係について」 ・自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】		○	○	○	6
3 学 期	H 実用文を読む。 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価	・指導事項 実用文の読み取り方 ・教材 「多層性と多様性」 ・自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】					6
	I 近代の先へ。 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができ	・指導事項 評論文の読み取り方 文章をもとに自分の考えを形成すること及びその考えの他者への伝え方。 ・教材 「暇と退屈の倫理学」 ・討論資料などを作る際にOnenote	○		【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができ					6
									合計	55

高等学校 令和4年度（1学年用）

教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：鶴巻 智大）（2組：高野 純）（3組：鶴巻 智大）（4組：高野 純）（5組：高野 純）（6組：高野 純）（7組：鶴巻 智大）

使用教科書：（精選言語文化（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
1 学 期 （ 期 末 ）	E 随筆 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 形容詞・形容動詞の活用 古文の内容、現代語訳 ・教材 『方丈記』『ゆく河の流れ』			○				5
	F 詩歌 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで散文詩を読み味わい、学習課題に沿って、詩や題名に込められた作者の思いについて考えることができる。	・指導事項 詩の表現とリズムの特徴 詩の内容、作者の思い ・教材 『I WAS BORN』 物語の続きを書く際に、Word機能を用いる。			○				3
	G 再読文字 【知識及び技能】 再読文字の種類及び読み方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて再読文字をはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、再読文字などに基づいて、漢文に込められた作者の思いについて考えることができる。	・指導事項 再読文字の読み方 漢文の現代語訳 ・教材 『再読文字』			○				3
定期考査						○	○		1

高等学校 令和4年度（1学年用）

教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：鶴巻 智大）（2組：高野 純）（3組：鶴巻 智大）（4組：高野 純）（5組：高野 純）（6組：高野 純）（7組：鶴巻 智大）

使用教科書：（精選言語文化（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			語 聞	書 読	読					
2 学 期 （ 期 末 ）	L 和歌 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ることができる。	・指導事項 和歌のリズム、内容 恋の歌を詠み比べる ・教材 『枕草子』『ありがたきもの』		○		【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	M 小説Ⅱ 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、異なる文章を読み比べ、その違いに込められた筆者の見解をとらえることができる。	・指導事項 小説の内容 同一テーマに基づいて書かれた文章の詠み比べ 本文の内容理解 ・教材 『桃太郎』芥川龍之介		○		【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、異なる文章を読み比べ、その違いに込められた筆者の見解をとらえている。	○	○	○	3
	N 唐詩 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで唐歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ることができる。	・指導事項 絶句や律詩などの唐詩の形式 唐詩のリズム ・教材 『酒勸』『香炉峰』		○		【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで唐歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和4年度（1学年用）

教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：鶴巻 智大）（2組：高野 純）（3組：鶴巻 智大）（4組：高野 純）（5組：高野 純）（6組：高野 純）（7組：鶴巻 智大）

使用教科書：（精選言語文化（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		語 ・ 聞	書 ・ 読	読					
3 学 期	0 物語 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確にとらえることができる。	・指導事項 古典における敬語 本文の内容及び人物の心情 ・教材 『竹取物語』『かぐや姫の昇天』		○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確にとらえようとしている。	○	○	○	8
	P 小説Ⅲ 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わうことができる。	・指導事項 小説の内容 主人公の心情の変化 本文の内容理解 ・教材 『富嶽百景』		○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。	○	○	○	5
	Q 寓話 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて既習の句形ををはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、既習の句形などに基づいて、漢文に込められた作者の思いについて考えることができる。	・指導事項 疑問・反語の句形 本文の内容 ・教材 『論語』		○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて既習の句形ををはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、既習の句形などに基づいて、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	5
合計									
									82

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	現代文B (必修・必選・自選)	対象学年	2	単位数	2	予定授業時間	70
教科書	精選現代文B(東京書籍)	担当者	工藤明日実、藤井優子				
副教材	常用国語便覧(浜島書店)/入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500三訂版(いっすな書店)/現代文単語げんたん(いっすな書店)/実践型問題集スタディアーク現代文step1(第一学習社)						

目標		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	
学期	時数	指導項目	指導内容
1 学期	25	<p>評論1 「世界をつくり替えるために」</p> <p>評論1 ミロのヴィーナス</p> <p>小説1 「山月記」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の論理的な構成を理解させる。 論理的文章への抵抗感を抱かないように、評論文に慣れ親させる。 接続詞に注意し、筆者の論理展開の流れを把握し、読解の方法を身につけさせる。 抽象的な文章と論理的文章を区別し、軸になる文章を見極める力を身につけさせる。 論理的文章の特徴を理解することによって、その論理展開と論旨を正確に理解させる。 指示語の内容を明らかにしながら読解させる。 人間にとって「手」はどのようなものであるか、まずその存在を明らかにし、筆者の考察をもとに生徒の論理的考察を深める手助けとなるようにする。 小説の構成を確認するとともに、主人公が自分の言葉に促されて自己分析を進めていくという過程を把握させる。 漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気味わわせる。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気味わわせる。また、小説の中で、どのようなところで漢文調の表現が使われ、どのようなところでより日常的な口語表現が用いられているかに注意させ、その効果について考えさせる。 「月」の効果について考えさせる。 「人間」とは何かについて、考えを深め、それを文章化するなど言語活動を通して伝える力を育む。
2 学期	25	<p>評論2 「相手依存の自己規定」</p> <p>評論2 「科学的『発見』とは」</p> <p>評論3 「おじいさんのランプ」 「書物の近代」 「読み書きする身体」</p> <p>小説3 「藤野先生」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の論理的な構成を理解させる。 論理的文章への抵抗感を抱かないように、評論文に慣れさせる。 接続詞に注意し、筆者の論理展開の流れを大きく把握し、読解の方法を身につけさせる。 抽象的な文章と論理的文章を区別し、軸になる文章を見極める力を身につけさせる。 論理的文章の特徴を理解することによって、その論理展開と論旨を正確に理解させる。 指示語の内容を明らかにしながら読解させる。 書き手の意図を表現に注意して的確に捉えることができるようにする。 複数の文章の読み比べ、共通点や相違点を読み取りまとめる力を付けさせる。 小説の構成を確認するとともに、主人公が自分の言葉に促されて自己分析を進めていくという過程を把握させる。 小説を主体的に読解、鑑賞させる。 小説の中に書かれている主人公たちの生き方と、自己自身の生き方とを対比して、人生について考えさせる。
3 学期	20	<p>評論4 「である」ことと「する」こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の論理的な構成を理解させる。 論理的文章への抵抗感を抱かないように、評論文に慣れ親しむ。 接続詞や指示語などに注意し、筆者の論理展開の流れを大きく把握し、読解するための方法を身につけさせる。 抽象的な文章と論理的文章を区別し、軸になる文章を見極める力を身につける。 二項対立の構成を理解させる。 指示語の内容を明らかにする。 論理的文章の特徴を理解することによって、その論理展開と論旨を正確に理解する。 何度も繰り返されるキーワードを手がかりに、大まかな内容を理解させる。 現実の社会を論理的に分析し、批評できる力を養わせる。 四つの意味段落で述べられている筆者の考えと、具体的な事例や引用との関係に注意しながら、本文を通読する。
評価の観点と方法		年間5回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については1・2学期は10段階、学年末は5段階で評価する。	

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	古典B(文系) (必修・必選・自選)	対象学年	2	単位数	3	予定授業時間	105
教科書	精選古典B(東京書籍)	担当者	池田真紀、工藤明日実				
副教材	常用国語便覧(浜島書店)／解法古文単語350(数研出版)／体系古典文法(数研出版)／体系古典文法 学習ノート(数研出版)／古典文法10題ドリル(駿台文庫)／必携新明説漢文(尚文出版)／基礎からのジャンプアップ漢文句法(尚文出版)／実践型問題集スタディアーク古典step1(第一学習社)						

目標		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	40	古文 「初冠」(『伊勢物語』) 「姥捨」(『大和物語』) 「中納言参り給ひて」(『枕草子』) 文法「敬語の学習」 漢文 「不死之薬」(『韓非子』)	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・1学年次で学習した敬語の用法に加え、敬意の方向について理解させる。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・歌物語というジャンルならではの表現方法をより深く理解し、作品価値を考察させる。 ・『源氏物語(若紫)』の参考になったとも言われている「初冠」を学習し、2学期の学習への関心を持たせる。 ・『枕草子』の日記的章段を取り上げることで、女房や中宮の宮中での生活を知るとともに平安時代の宮中に対して興味関心を持たせる。 ・春秋戦国時代の中国について触れ、作品背景を理解させ、読解に生かさせる。 				
2 学期	40	古文 「門出」(『更級日記』) 「光源氏の誕生」(『源氏物語』) 「若紫」(『源氏物語』) 漢文 「鴻門之会」(『史記』) 「四面楚歌」(『史記』) 「項王自刎」(『史記』)	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・物語文学を扱い、登場人物の魅力や心情を理解する中で、古典文学に対する興味関心を一層高めさせる。 ・1年次で学習した『土佐日記』に続き、女性が書いた『更級日記』の学習を通して、日記文学の価値を再確認する。 ・作中に『源氏物語』が登場する「門出」の学習を『源氏物語』の導入として行う。 ・我が国古典文学の最高峰である「源氏物語」を鑑賞することで、日本文学・文化への理解を深めさせる。 ・『史記』の「項羽と劉邦」の作品を学習し、中国史上のできごとを漢文作品から読解することを通して、漢文のおもしろさを感じさせるとともに漢文を学習することの意義を理解させる。 				
3 学期	25	古文 「道長、伊周の競射」(『大鏡』) 「なげきつつひとり寝る夜」(『蜻蛉日記』) 漢文 『論語』	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・『大鏡』とその他の歴史文学について学習し、日本史の学習とリンクさせて理解・読解を深めさせる。 ・「道長、伊周の競射」の学習を通して、道長の存在が圧倒的なものであったことを読み取らせ、伊周や定子の没落についてもつなげて理解させる。 ・「なげきつつひとり寝る夜」の学習を通して、平安時代の貴族の婚姻関係について古典常識を身につけさせるとともに、その中で生きていた女性たちの心情は現代のものとは大きくは変わらないものであったことを読み取らせる。 ・『論語』の学習及び諸子百家について学習し、漢文及び中国とさらには現代の日本にも影響を及ぼしている考え方のルーツを見つけさせる。 				
評価の観点と方法		年間5回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については1・2学期は10段階、学年末は5段階で評価する。					

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	古典B(理系) (必修・必選・自選)	対象学年	2	単位数	2	予定授業時間	70
教科書	精選古典B(東京書籍)	担当者	池田真紀、工藤明日実				
副教材	常用国語便覧(浜島書店)/解法古文単語350(数研出版)/体系古典文法(数研出版)/体系古典文法 学習ノート(数研出版)/古典文法10題ドリル(駿台文庫)/必携新明説漢文(尚文出版)/基礎からのジャンプアップ漢文句法(尚文出版)/実践型問題集スタディアーク古典step1(第一学習社)						

目標		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	40	古文 「初冠」(『伊勢物語』) 「中納言参り給ひて」(『枕草子』) 文法「敬語の学習」 漢文 「漱石枕流」(『世説新語』) 「完璧而帰」(『十八史略』)	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・1学年次で学習した敬語の用法に加え、敬意の方向について理解させる。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・歌物語というジャンルならではの表現方法をより深く理解し、作品価値を考察させる。 ・『源氏物語(若紫)』の参考になったとも言われている「初冠」を学習し、2学期の学習への関心を持たせる。 ・『枕草子』の日記的章段を取り上げることで、女房や中宮の宮中での生活を知るとともに平安時代の宮中に対して興味関心を持たせる。 ・春秋戦国時代の中国について触れ、作品背景を理解させ、読解に生かさせる。 				
2 学期	40	古文 「光源氏の誕生」(『源氏物語』) 源氏物語絵巻 和歌 漢文 近体詩 儒家・道家	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・物語文学を扱い、登場人物の魅力や心情を理解する中で、古典文学に対する興味関心を一層高めさせる。 ・我が国古典文学の最高峰である「源氏物語」を鑑賞することで、日本文学・文化への理解を深めさせる。 ・1学期に学習した歌物語の和歌を導入とし、万葉秀歌や王朝秀歌を学習し、もの見方・感じ方を広げる。 ・1年次に学習した近体詩の学習に続き、唐代の近体詩を読み味わい、もの見方・感じ方を広げる。 ・儒家・道家の学習及び諸子百家について学習し、漢文及び中国とさらには現代の日本にも影響を及ぼしている考え方のルーツを見つけさせる。 				
3 学期	25	古文 「道長、伊周の競射」(『大鏡』) 漢文 『孟子』 『荀子』	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語を中心に文法事項を学ぶことで、古典読解力を身に着ける。 ・句形や漢字の意味に注意して漢文を書き下し・口語訳し、正確に読解できるようにする。 ・作品中の単語の学習や単語テストを通して、語彙を増やす。 ・古典の読解を通して、もの見方、感じ方を広げ、人生を豊かにする態度を身に着けさせる。 ・『大鏡』とその他の歴史文学について学習し、日本史の学習とリンクさせて理解・読解を深めさせる。 ・「道長、伊周の競射」の学習を通して、道長の存在が圧倒的なものであったことを読み取らせ、伊周や定子の没落についてもつなげて理解させる。 ・『孟子』・『荀子』の学習及び諸子百家について学習し、漢文及び中国とさらには現代の日本にも影響を及ぼしている考え方のルーツを見つけさせる。 				
評価の観点と方法		年間5回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については1・2学期は10段階、学年末は5段階で評価する。					

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	現代文B (必修・必選・自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	70
教科書	精選現代文B(東京書籍)	担当者	赤井 晶子、池田 真紀、鮫島 那野				
副教材	新訂総合国語便覧(第一学習社)/イラストとネットワークで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版(いっぴずな書店)/大学入試漢字TOP2000(いっぴずな書店)						

目標	<p>評論の論旨の展開方法について習熟し、主題や筆者の論点を的確に把握できる力をつける。 自らにとって身近な事柄に潜む本質的な問題についての「気づき」の大切さについて理解する。 小説を主体的に読解、鑑賞し、小説の中に示されている主人公たちの生き方と自己自身の生き方とを対比して、人生について考える。</p>
----	---

学期	時数	指導項目	指導内容
1 学期	25	<p>評論文『鏡の中の現代社会』見田宗介 随想『言葉を生きる』若松英輔 評論『社会の壊れる時—知性的であると はどういうことか』鷺田清一 評論『文学の未来』小野正嗣</p>	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語などに注意し、筆者の論理展開の流れを大きく把握し、読解するための方法を身につけさせる。 文章全体の論理的な構成を理解させる。 本文で論じられている内容について、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させる。 文章の論理展開を的確に把握させ、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解させる。 既習の予クエックを確認し、評論文の基本的な読解方法を復習させることで、文章全体を論理的・構造的に把握できるようにさせる。 微妙な表現や語彙の有無に注意することが、筆者の主張や思想を読み解く手がかりになることをつかませる。 提示された抽象的なテーマを自分にひきつけて具体的に考えさせる。 各段のキーワードや中心文をとらえ、要旨を掴ませる。 抽象的な言葉や指示語の内容を理解して、筆者の考えを読み取る。 文化の崩壊と「近代性」の関連についての筆者の考えを読み取る。 「近代性」という信仰と「磨練」の維持についての筆者の考えを読み取る。 筆者の考える、「知性的ということ」について読み取り、まとめる。 「知性的」であることが求められる、現代の社会問題について話し合う。
2 学期	25	<p>評論文『「である」ことと「すること」』丸山真男 小説『檸檬』梶井基次郎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の論理的な構成を理解させる。 論理的な文章への抵抗感を抱かないように、評論分に慣れ親しむ。 接続詞や指示語などに注意し、筆者の論理展開の流れを大きく把握し、読解するための方法を身につけさせる。 抽象的な文章と論理的な文章を区別し、軸になる文章を見極める力を身につける。 二項対立の構成を理解させる。 指示語の内容を明らかにする。 論理的な文章の特徴を理解することによって、その論理展開と論旨を正確に理解する。 何度も繰り返されるキーワードを手がかりに、大まかな内容を理解させる。 現実の社会を論理的に分析し、批評できる力を養わせる。 四つの意味段落で述べられている筆者の考えと、具体的な事例や引用との関係に注意しながら、本文を通読する。 小説の構成を確認するとともに、主人公が自分の言葉に促されて自己分析を進めていくという過程を把握する。 小説を主体的に読解、鑑賞させる。 小説というメディアを通じて、独特の虚構世界を正確に読み取り、味わう力を養わせる。 小説の中に書かれている主人公たちの生き方と、自己自身の生き方とを対比して、人生について考える。 作中の人物の心理と行動を読み取る力を養わせる。 生徒の心身の成長や身近な何気ない変化などを手がかりとして、自己形成のさなかにある主人公の考え方や境遇、生き方に想像力豊かに迫らせる。 人間の本质について考察するとともに、現代社会に対するあるべき認識を育ませる。
3 学期	20	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題を解き、実践的な力を身につける。 評論文、小説などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 文章に触れる中で、語彙を身につける。
評価の観点と方法	年間4回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については5段階で評価する。		

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	現代文演習（必修・ 必選 ・自選）	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	70
教科書		担当者	赤井 晶子、鮫島 那野				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1講現代文評論①(三省堂) ・大学入試トライアル私大対策評論20Standard(いいずな書店) ・入試頻出新国語問題総演習1200(いいずな書店) ・改訂版センター試験演習現代文(いいずな書店) 						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な問題演習を繰り返し行うことで、入試問題に対応できる力を培う。 ・評論文、小説などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・文章に触れる中で、語彙を身につける。 					
学期	時数	指導項目			指導内容		
1 学期	25	問題演習 ・評論 ・小説 ・随筆			<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題を解く基礎的な力を身につける。 ・評論文、小説などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・文章に触れる中で、語彙を身につける。 		
2 学期	25	問題演習 ・評論 ・小説 ・随筆			<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題を解く基礎的な力を身につける。 ・評論文、小説などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・文章に触れる中で、語彙を身につける。 		
3 学期	20	入試問題演習			<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題を解き、実践的な力を身につける。 ・評論文、小説などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・文章に触れる中で、語彙を身につける。 		

評価の観点と方法	年間5回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については5段階で評価する。
----------	---

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	古典B (必修・ <u>必選</u> ・自選)	対象学年	3	単位数	4	予定授業時間	140
教科書	精選古典B(東京書籍)	担当者	赤井 晶子、鮫島 那野、高野 純				
副教材	過程の演習新国語問題集古文編/読解トレーニング古典の演習(啓隆社)/新明説総合古典文法(尚文出版)/大学入試国語頻出問題1200(いっずな書店)						

目標		1, 2年生で身に付けた基礎的な文法知識の定着を図る。実践的な問題演習を繰り返し行うことで、入試問題に対応できる力を培う。					
学期	時数	指導項目		指導内容			
1 学期	55	基礎固めと問題演習 ・物語 ・日記 ・説話 ・随筆 ・評論 ・歴史 ・軍記 ・和歌		<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年の復習を行い、基礎的な力を身につける。 ・物語、日記、説話などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・古典文法の基礎を身につける。 			
2 学期	55	問題演習 ・物語 ・日記 ・説話 ・随筆 ・評論 ・歴史 ・軍記 ・和歌		<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題を解く基礎的な力を身につける。 ・物語、日記、説話などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 ・古典文法の基礎を利用して、発展的な問題を解く力を身につける。 			
3 学期	30	入試問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題を解き、実践的な力を身につける。 ・物語、日記、説話などさまざまな分野の文章を読み解く力を身につける。 			
評価の観点と方法		年間5回の定期考査・小テスト・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については5段階で評価する。					